

## スターチスの簡易養液栽培法

暖地園芸センター

### 研究のねらい

スターチス・シヌアータの栽培では、<sup>どじょう</sup>土壤病害対策、年内から3月までの収量増加が求められています。このため、市販のプランターを用いた簡易な養液栽培装置を開発し、その栽培方法を検討しました。

### 研究の成果

- ①栽培槽には、市販の園芸用プランターを用いました。このプランター内に中敷きを設置し、その上に<sup>ぼうこん</sup>防根シートを<sup>ふせつ</sup>敷設して<sup>ばいち</sup>培地を<sup>じゅうてん</sup>充填し、給液は点滴式かん水チューブを用いタイマー制御により自動給液で行いました（図1）。
- ②定植は、1プランター当たり2株としました。
- ③培地は、フェノール発泡樹脂および<sup>ひのき</sup>杉皮・<sup>うね</sup>檜皮混合物（杉皮：檜皮=8:2）が適しました。また、培地量は15Lとしました。
- ④培養液は、愛知園研カーネーション処方としました（組成省略）。培養液ECは、1.0~2.0dS/mで、収量、品質とも優れ、9月10日に定植すると4月末までに1株当たり約18本の切り花本数が得られました（表1）。

### 成果の活用面・留意点

- ①培地は、栽培終了後除塩・消毒すると連年使用できます。
- ②給液量は1日1プランター当たり675mlとし、これを3~6回に分けて行います。
- ③本装置の初期設置コストは、10a当たり約200万円です。

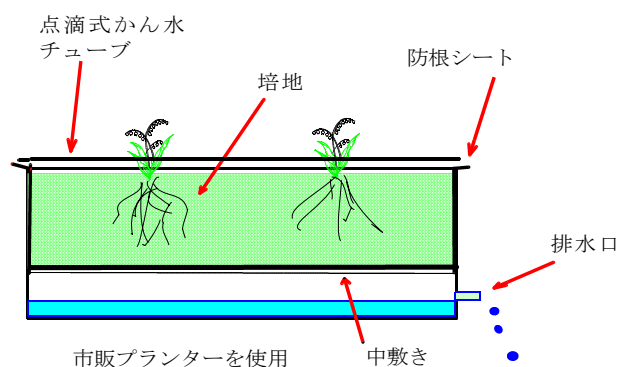


図1 スターチスの簡易養液栽培装置

写真1 簡易養液栽培装置での栽培風景

表1 培養液濃度と切り花本数および切り花品質

培養液濃度 (dS/m)	切り花 本数 (本/株)	切り 花長 (cm)	切り花 重量 (g)	花房 数 (個)
1.5	16.8	88.9	53.0	7.7
1.2	18.6	86.8	48.0	7.2
0.8	15.8	78.1	34.4	6.0
2.0	17.9	69.8	26.5	4.9
1.0	16.4	69.8	28.0	4.9

注) 品種「サンデーライトブルー」、上段2000年、下段1998年調査は、10~4月

(問い合わせ先：0738-23-4005)